

むくのきだより



4月号

平成30年4月9日

港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

「むくのき つよいき やさしいき ぐんぐんのびろ いつまでも」

園長 宮崎 直人

暖かな春の日差しが嬉しい季節となりました。菜の花や森の小道のハナニラやツルニチニチソウの花々も暖かい春の光をいっぱいに浴びて輝いています。

お子様のご入園、ご進級おめでとうございます。本年度は24名の新入園児を迎え、4歳児年少さくら組24名、5歳児年長ゆり組24名、全園児48名でスタートしました。子供たち一人一人、それぞれ希望に胸をふくらませて入園・進級し、希望に満ちた新年度を迎えられたことと思います。

本園は、教育目標を、

- 人や自然を愛し、心の豊かな子 「やさしい子」
- 好奇心をもち、進んで考え、創意工夫する子 「考える子」
- 健康で明るく、素直に言葉や態度で表現する子 「元気な子」



として、一人一人の発達の特性を踏まえ、基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの中でできることを増やし、主体的に考え行動できるよう、自立に向けた教育を行います。

そのために、平成30年度は、以下の基本方針のもと、教育活動を展開してまいります。

- 1 地域と共にある幼稚園として、近隣の教育資源を生かし、幼稚園と保護者、地域との連携、協働を図りながら地域に生きる人材を育成する。
 - ・ 発達の連続性を捉えた幼稚園・小中学校の一貫した指導を行うことにより、小学校以降の生活や学習の基盤となる生きる力の基礎を身に付ける教育を行う。
 - ・ 遠足など、地域社会と関わる活動を通して、幼児に地域の自然事象に関心をもたせ、地域社会と自らとのつながりや地域に生きる一員としての意識を育む。
- 2 様々な生活の場面や活動を通して挨拶や礼儀について繰り返し指導し、自分から考えて行動する力を育む。
 - ・ 人との関わりや社会生活の中で必要な礼儀や挨拶、感謝の心を育む教育を推進する。
 - ・ 道徳性や規範意識の芽生えを培う教育を重視し、家庭や地域と連携しながら遊びや生活を通して人との関わりを広げ、思いやりの気持ちを育む。
- 3 幼稚園から小・中学校への学びの連続性を考慮し、小学校入学前教育の充実を図るために、赤羽小学校との連携を重視した教育を行う。
 - ・ 園環境・自然環境を生かした体験的な活動を積極的に取入れ、好奇心や探究心を育み、思考力の芽生えを培う教育を推進する。
 - ・ 心身の調和のとれた発達の基礎を培うために、幼児の本来もつ活動意欲の充足を目指し、園の施設と赤羽小学校校庭や体育館などの施設を効果的に活用した教育を推進する。
 - ・ 特別支援教育の充実を図り、個に応じた支援が必要な幼児の能力・特性を最大限に伸ばし、成長・発達していけるよう、一人一人の教育ニーズに応じた支援を行う。

教職員一同、「チーム赤羽」として、子供たちのために、全力で職務にまい進してまいります。

また、子供たちの健やかな成長には園と家庭との密接な連携が欠かせません。家庭や地域との絆を深め、しっかりと手を携えて進めていきたいと考えております。保護者の皆様、地域の皆様、温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。